

共催セミナー開催趣意書 ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は日本小児がん研究グループの活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本小児がん研究グループは、最善の小児がん治療体制を構築するべく各領域の専門家が結集して、2014年12月にNPO法人として設立された臨床研究グループです。小児がん治療・研究を専門とする国内すべての大学病院、小児病院、総合病院を始めとする医療機関、研究機関が結集して、がんに罹患した子どもたちに、より良い医療を提供するための活動を続けています。わたしたちは質の高い研究を遂行するために、中央データセンター、中央診断システム、検体保存体制を構築し、新たな標準的治療を開発するための、数多くの臨床試験・研究を実施してきました。

小児がんは国内で年間2,500例の発生が見込まれますが、その疾患種類は多岐にわたり、疾患ごとの専門家が、他の疾患や成人領域と比較して少ないという問題があります。その一方で、がんの診断や治療に関する知識や技術は日々、進化を続け、小児がん診療に携わる医療者が目の前の子どもに最善の医療を提供するためには、最新情報を効率よく学習する機会が必要であると考えております。

日本小児血液・がん学会による学術活動と協調しながら、日本小児がん研究グループは、小児がん医療においてより実践的な知識を得る機会として、「JCCGセミナー」を企画しました。

つきましては、出費多端の折、恐縮でございますが、本趣意をお汲み取りいただき、是非とも日本小児がん研究グループが取り組む小児がん医療者育成の一貫として、本セミナーにご共催賜ることができれば誠に有難く存じます。本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配とご援助の程、衷心よりお願いでする次第です。なお、ご協賛いただきました共催費につきましては、貴社の指針に従い公表することについて同意することは言うまでもありません。

末筆ながら貴社の益々のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021年11月吉日

特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ
理事長 足立

